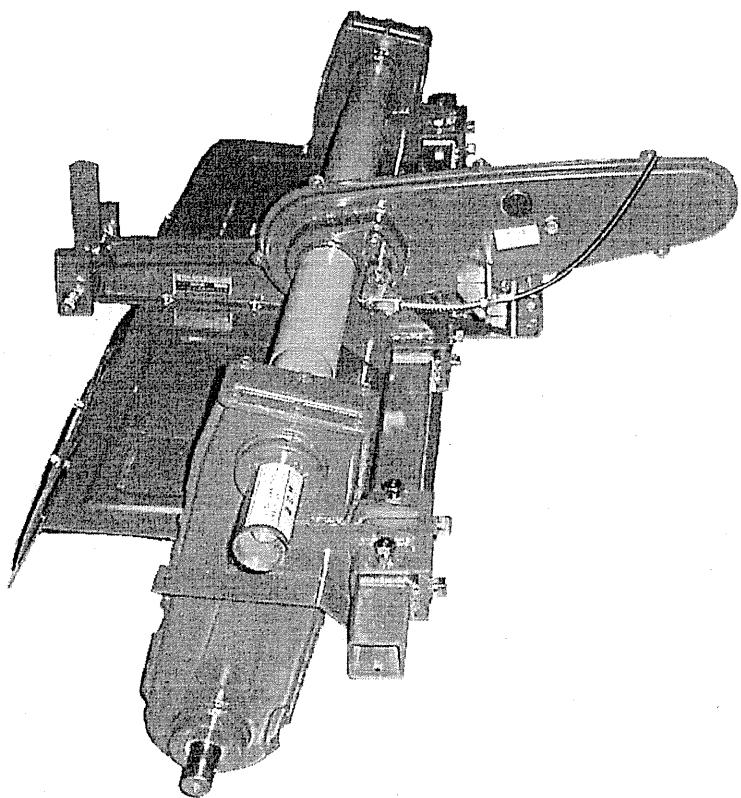


敵立ロータリ

取扱説明書

KK7 WD300



当製品を安全に、また正しくお使いいただくために
必ず本取扱説明書をお読みください。誤った使い方
をすると事故を引き起こす恐れがあります。
お読みになった後も必ず製品に近接して保存してく
ださい。

はじめに

このたびは本製品をお買上げいただきましてありがとうございました。

この取扱説明書は製品の正しい取扱い方法、簡単な点検および手入れについて説明しています。ご使用前によくお読みいただいて十分理解され、お買上げの製品が優れた性能を発揮し、かつ安全で快適な作業をするためこの冊子をご活用ください。また、お読みになった後必ず大切に保存し、分からぬことがあったときには取出してお読みください。なお、製品の仕様変更などにより、お買上げの製品とこの説明書の内容が一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

▲ 安全第一

本書に記載した注意事項や機械に貼られた ▲ の表示があるラベルは、人身事故の危険が考えられる重要な項目です。よく読んで必ず守ってください。

なお、▲表示ラベルが汚損したり、はがされた場合はお買上げいただいた購入先に注文し、必ず所定の位置に貼ってください。

■ 注意表示について

本取扱説明書では、特に重要と考えられる取扱い上の注意事項について次のように表示しています。



警 告 : 注意事項を守らないと、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。



注 意 : 注意事項を守らないと、けがを負うおそれのあるものを示します。

重 要 : 注意事項を守らないと、機械の損傷や故障のおそれのあるものを示します。

補 足 : その他、使用上役立つ補足説明を示します。

本製品の使用目的について

本製品は、農業用機械ですので農作業以外では使用しないでください。

使用目的以外の作業、また夜間作業や改造はしないでください。

使用目的以外の作業や改造をした場合は、保証の対象になりませんのでご注意ください。

目 次

▲ 安全に作業するためには	1
運転する前に	1
作業するとき	2
作業が終わったとき	2
警告ラベルと貼付位置	4
サービスと問い合わせについて	5
ロータリの取付け取外し	6
ロータリの取付け方	6
クラッチレバーの取付け方	6
ロータリの取外し方	7
作業前の点検	8
圃場で作業するときは	9
ロータリの調節	9
定期点検・設備	10
洗車時の注意	10
仕様諸元	11

⚠ 安全に作業するために

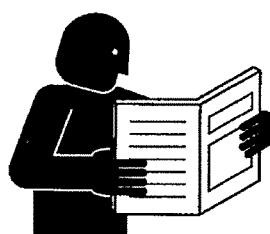
必ず読んでください

本機をご使用になる前に、必ずこの『取扱説明書』をよく読み理解した上で安全な作業をしてください。安全に作業をしていただくため、ぜひ守っていただきたい注意事項は下記の通りですが、これ以外にも、本文の中で**▲危険**・**▲警告**・**▲注意**・**重要**・**補足**としてそのつど取上げています。

運転する前に

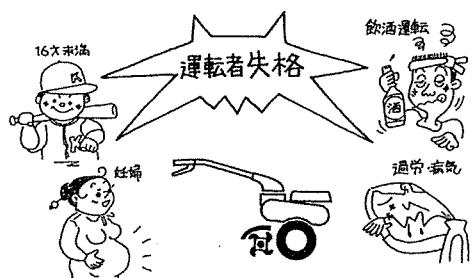
■運転前に

- 機械を動かす前に、取扱説明書と機械に貼つてある**▲表示ラベル**をよく読み、理解した上で運転してください。
- 機械の運転操作、特に主クラッチ〔切〕はすばやくできるよう、よく練習し、じゅうぶんに慣れてから作業してください。



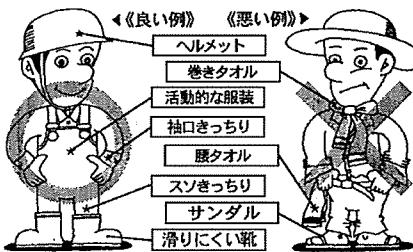
■使用する人は

- 次の項目に該当する場合は機械を使用しないでください。
- ☆本書及びラベルの内容が理解できない人
 - ☆視力不足等のため表示内容が読めない人
 - ☆飲酒時や体調が悪い時または妊娠中の人は絶対運転させないでください。
 - ☆16歳未満の人
 - ☆ハンドルを操縦する体力に自信のない人



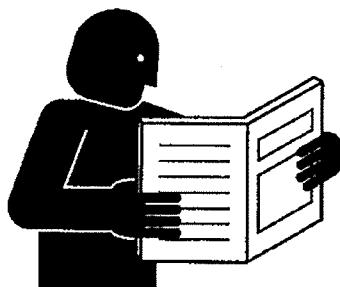
■使用する人の服装は

- 回転部分や操縦装置に引っ掛かり事故の原因になる、だぶついた服、腰タオル等はやめてください。
- ヘルメット・安全靴・保護メガネや手袋などを必要により着用してください。



■他人に貸すときは

- 事前に運転のしかたを教え、〔取扱説明書〕を必ず読み込んでください。
- 本書及びラベルの内容が理解できない人や子供には絶対運転させないでください。



■周囲への注意

- 子供、ペットを近づけないでください。
- 人を近くに寄せないでください。
- 共同作業者がいるときは、互いに注意してください。



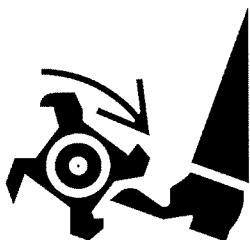
⚠ 安全に作業するため

必ず読んでください

作業するとき

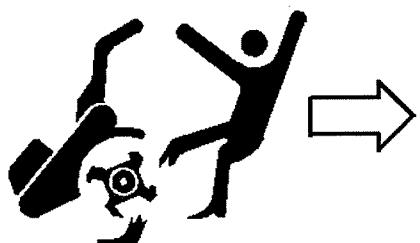
■回転している爪に注意

- ハンドル部を持上げ旋回するとき、足元及び周囲にじゅうぶん注意してください。回転する爪に巻込まれるおそれがあります。



■バック耕耘禁止

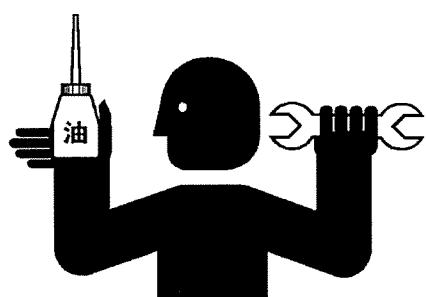
- 管理機のハンドル正位置でロータリが作業者の直前にあるような後退作業は行なわないでください。転倒したり、傷害物に挟まれたりした場合に死亡事故や重大な傷害を負う危険があります。



作業が終わったとき

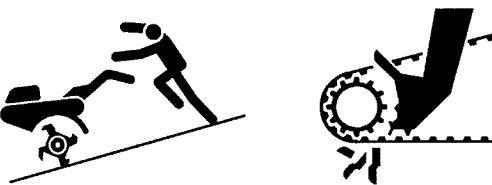
■点検・整備を行なう

- 事故・ケガ・機械の破損を未然に防止するため、機械を使う前と後には必ず点検・整備を行なってください。



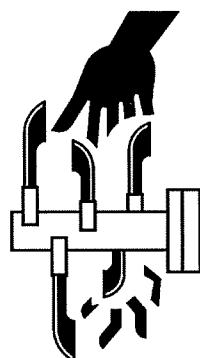
■整備をするとき

- 点検・整備・アタッチメントの脱着などは、機械が転倒しない平坦な所に機械を安定させて、エンジンを止め高温部が冷めてから行なってください。



■掃除をするとき

- 必ずエンジンを停止して下さい。爪軸に巻いた草・ワラ・泥土等を取り除くときは、巻込まれるおそれがあります。



■カバー類は必ずつける

- 点検・整備などで取外したカバー類は必ずもどおりに取付けてください。

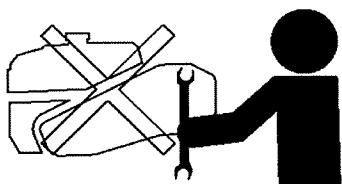


⚠ 安全に作業するため

必ず読んでください

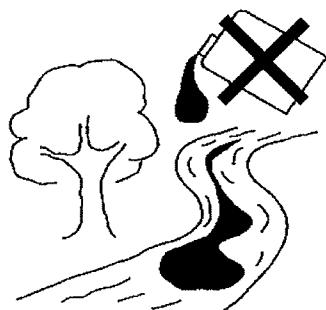
■機械の改造禁止

- 機械を改造しないでください。改造すると機械に影響を及ぼすばかりか人身事故にもつながるおそれがあります。



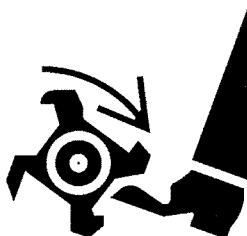
■廃棄物の処理について

- 廃棄物をみだりに捨てたり、焼却しないでください。環境汚染につながり、法令により处罚されることがあります。
- 機械から廃液を抜く場合は容器に受けてください。地面へのたれ流しや河川、湖沼、海洋への投棄はしないでください。
- 廃油、ゴム類、その他の有害物を廃棄、または焼却するときは、購入先、または産業廃棄物処理業者に相談して、所定の規則に従って処理してください。



■作業機の着脱について

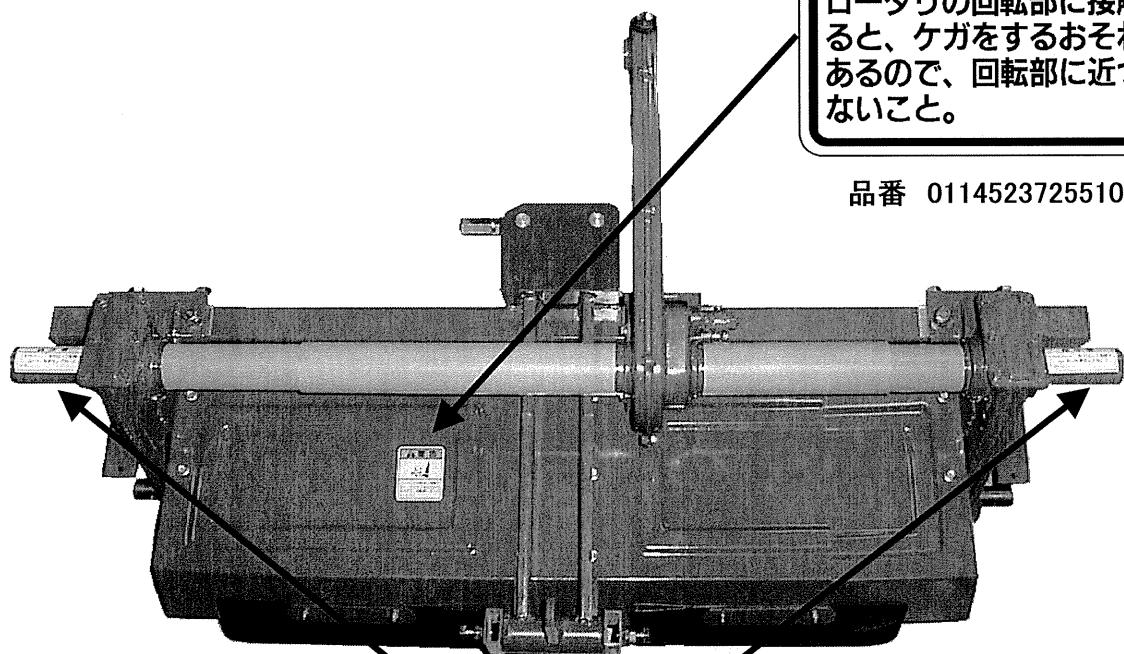
- 作業機の着脱は、平坦で安全な場所で行なってください。
- PTO作業機の装着・取外し・調整・掃除又は修理をするときは、作業機が完全に止まるまで待ってください。



⚠ 安全に作業するために

必ず読んでください

警告ラベルと貼付位置



品番 011452372551000

ロータリの回転部に接触すると、ケガをするおそれがあるので、回転部に近づかないこと。

警告

⚠ 警 告



注意

⚠ 注意

このカバーに、手やロープを掛け
て、ロータリを持ち上げないでく
ださい。

品番 059604770407000

⚠ 表示ラベルの手入れ

- ラベルはいつもきれいにして傷つけないようにしてください。
もしラベルが汚れている場合は、石鹼水で洗い、柔らかい布で拭いてください。
- 高圧洗浄機で洗車すると、高圧水によりラベルが剥がれるおそれがあります。高圧水を直接ラベルにかけないでください。
- 破損や紛失したラベルは、製品購入先に注文し、新しいラベルに貼替えてください。
- 新しいラベルを貼る場合は、貼り付け面の汚れを完全に拭取り、乾いた後、元の位置に貼ってください。
- ラベルが貼付けされている部品を新部品と交換するときは、ラベルも同じに交換してください。

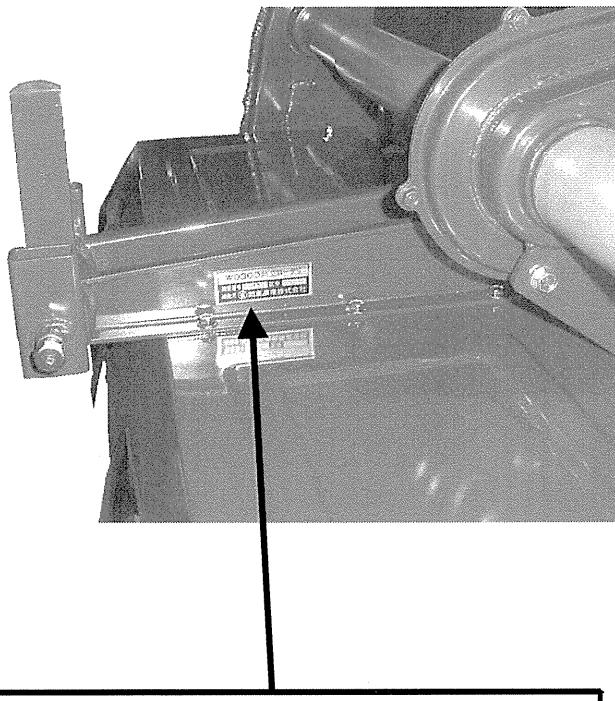
サービスと問い合わせについて

■アフターサービスについて

ロータリの調子が悪いときに点検処置してもなお不具合があるときは、お買い上げの販売店または当社にご連絡ください。

その際に連絡していただきたい内容

- 管理機の型式名
- ロータリの型式名
- ロータリの機番
- 故障内容(できるだけ詳しく)
 - どんな作業をしていましたか
 - どのくらい使いましたか
(アール、または時間)



WD 300 立田ロータリ

製造番号	区分
製造元	関東農機株式会社

ロータリの取付け取外し

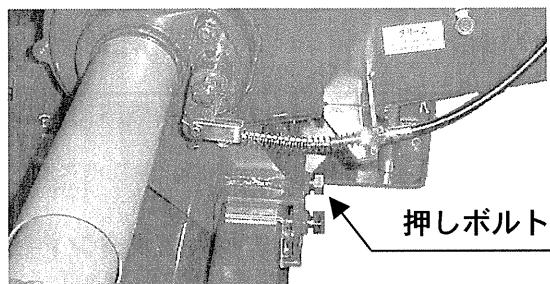
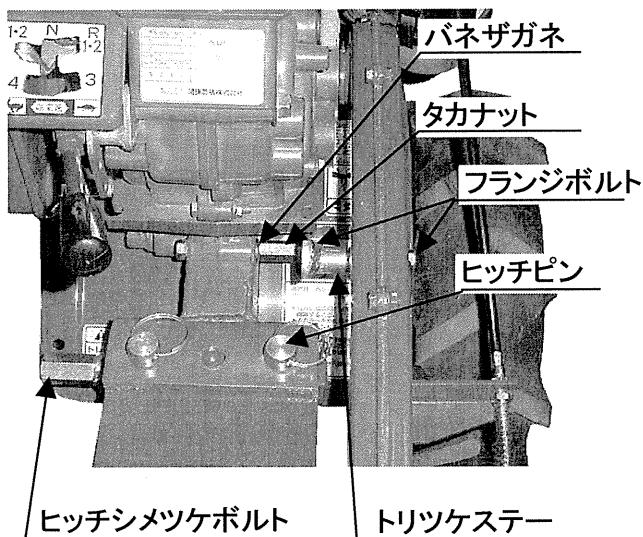


警 告

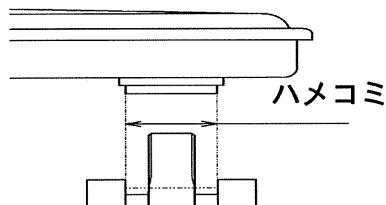
1. 作業は平坦な足元の良い場所でおこなってください。夜間は照明を用いて安全に留意してください。
2. 管理機のスタンドを立て機体を安定させてください。
3. 管理機のエンジンを停止しタイヤに輪止めをしてください。
4. 管理機のPTO軸を使用しないときはPTOキヤップを必ず取付けてください。

ロータリの取付け方

1. 管理機のスタンドを立て機体を安定させてPTOキヤップを取り外します。
2. 管理機のフランジボルト、ナット（各1本）を取り外し、フランジボルトを逆側（左側）から挿入します。
3. 2で挿入したフランジボルトにバネザガネ、タカナットを締付けます。
3. 管理機のリアヒッチにロータリを取り付けて押込みヒッチピンで止め、押しボルトをゆるめプライマリーケースをPTO軸側にずらし、トリツケステーとPTO軸にケースをはめ込みます。
4. 押しボルトを締付け後、ケースとトリツケステーをフランジボルトで締付け、ヒッチシメツケボルトを締付けます。



5. プライマリーケースのボスは管理機のミッションケースにハメコミ式になっています。完全に入っているか確認してください。

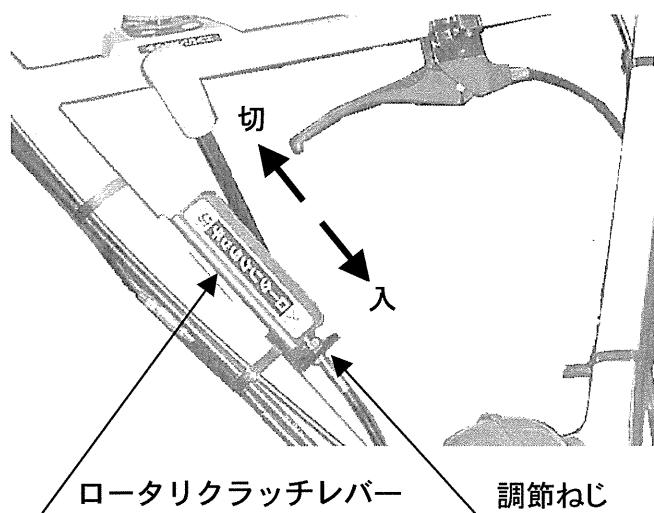


警 告

作業中に方向転換したり後進するときは必ずロータリクラッチレバーを「切」にしてロータリの回転を止めてからおこなってください。

ロータリクラッチレバーの取付け方

1. 管理機のハンドルステーにクラッチレバーを下図の通り取付けます。出荷時ケーブルは調節してありますが、使用している間に伸びが生じますので時々点検して下さい。

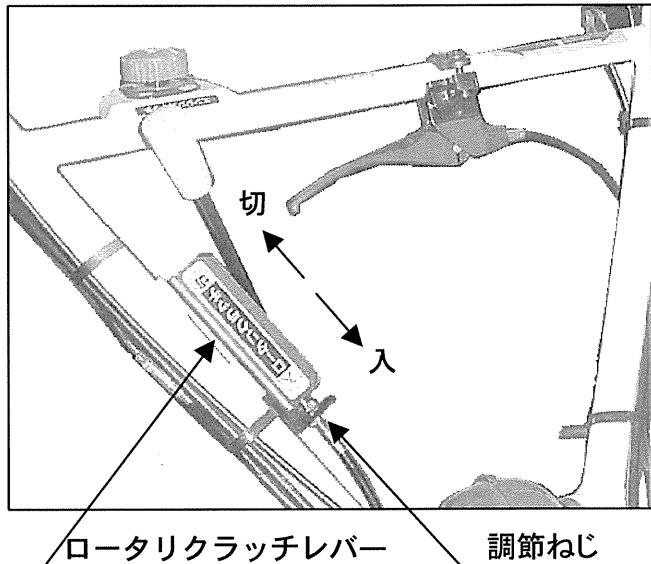


ロータリの取付け取外し

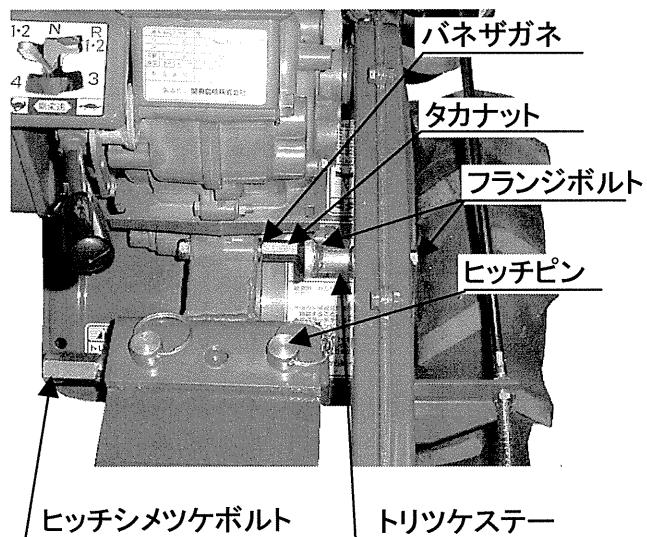
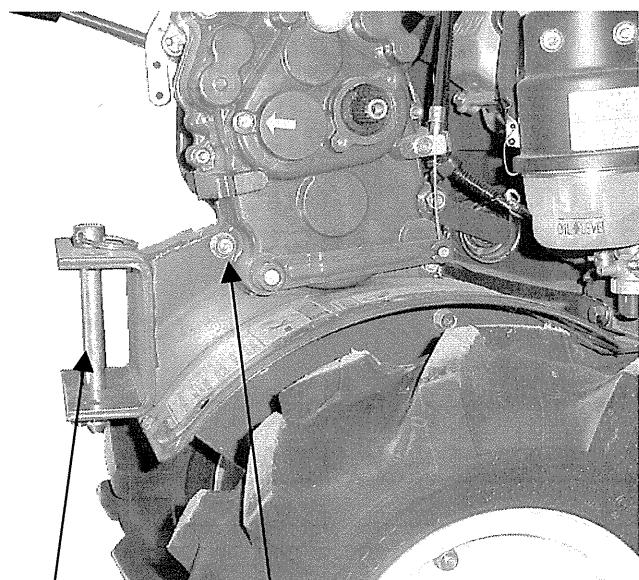
ロータリの取外し方

※ロータリの取外しは取付けの逆の順序で行ってください。

1. 管理機を平坦で安定した場所にスタンドを立てておきます。
2. ロータリクラッチレバーを取り外します。



3. ヒッチ締付ボルトをゆるめヒッチピン、フランジボルトを外します。
4. プライマリーケースをPTO軸から外しロータリと管理機を引き離し、トリツケステーを外します。
5. 管理機のPTO軸にキャップを取り付けます。



作業前の点検

安全で快適な作業を行なうには使用する前に始業点検を行ない、異常箇所がある場合にはただちに整備してから作業を始めてください。



警 告

回転部のカバー類を外したままで作業すると、衣類などが巻き込まれたりして大変危険です。必ず取付けてから作業を始めてください。

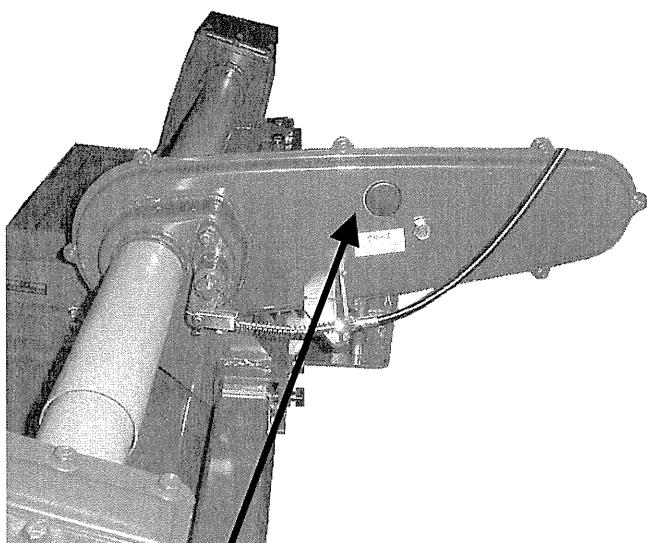


警 告

1. 作業は平坦な足元の良い場所でおこなってください。夜間は照明を用いて安全に留意してください。
2. 管理機のスタンドを立て機体を安定させてください。
3. 管理機のエンジンを停止しタイヤに輪止をしてください。

1. プライマリーケースのグリース

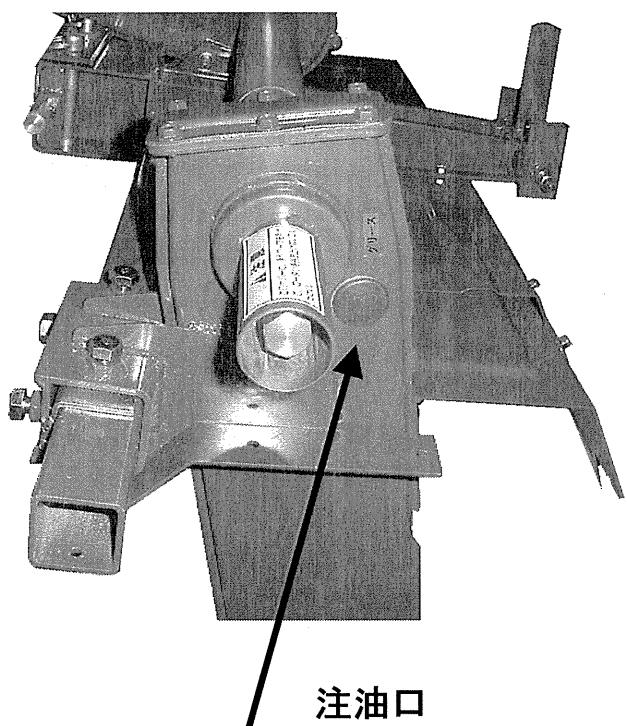
プライマリーケース内のチェンには出荷時にグリースが塗ってありますが、ご使用前には必ず注油口より内部を点検し不足していたら適量補充してください。



注油口

2. ロータリーケースのグリース

左右のロータリーケース内のチェンには出荷時にグリースが塗ってありますが、ご使用前には必ず注油口より内部を点検し不足していたら適量補充してください。



注油口

3. ロータリ各部のボルト・ナットの点検

- ロータリーケース周辺のボルト
- 耕耘爪取付ボルト

4. 各摺動部のオイル切れ

各摺動部にもオイルを注油してください。

圃場で作業するときは

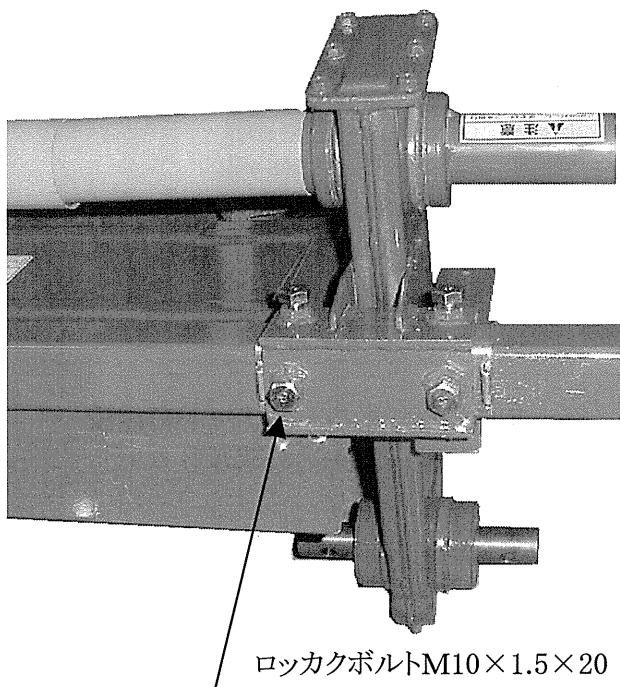


警 告

1. 各部の調節や爪の取付け取外しをするときは管理機のエンジンを停止しタイヤに輪止をしてからおこなってください。
2. 回転部のカバーを必ず取付けてから作業してください。カバーを外したままで作業すると衣服が巻き込まれたりして危険です。

ロータリーケースの調節のしかた

作業に合わせてロータリーケースの位置調節ができます。左右共にサイドヒッチのロッカクボルトM10×1.5×20（各4本）をゆるめ左右に調節して下さい。※スライド長…780～1180mm



作業後の手入れのしかた

その日のうちに土や付着物を洗い落とし水分を綺麗に拭き取って各褶動部に油をたっぷり塗ってください各部のボルト・ナットの増締をおこない異しておいてください。

定期点検・整備

! 警 告

- 取外した回転部のカバー類は衣服が巻き込まれたりして危険ですので必ず取付けてから作業してください。
- 点検・整備をするときは管理機のエンジンを停止しタイヤに輪止をしてからおこなうこと。

定期点検一覧表

点検調節箇所	規定量	内 容	点検・交換時期
プライマリーケース グリースの点検	適 量	減っていたら給脂	使用開始時に400～500cc給脂
ロータリーケース グリースの点検	適 量	減っていたら給脂	使用開始時に400～500cc給脂
ロータリーケース 取付けボルト		増し締めする	作業前点検
ロータリーヒッチ(サイド) 締付けボルト		増し締めする	作業前点検
耕耘爪取付けボルト		増し締めする	作業前点検

洗浄時の注意

高圧洗車機の使用を誤ると人を怪我させたり、機械を破損・損傷・故障させることができますので高圧洗車機の取扱説明書・ラベルに従って、正しく使用してください。

! 注 意

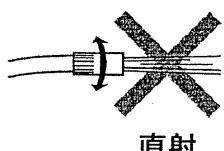
●機械を損傷させないように、洗浄ノズルを拡散にし、2m以上離して洗車してください。もし、直射したり、不適切に近距離から洗車すると、

- 電気配線部被覆の損傷・断線により、火災を引き起こすことがあります。
- 機械の破損・損傷・故障の原因になります。

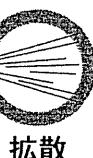
例)(1)シール・ラベルの剥がれ

- (2)電子部品、エンジン・トランスマッision室内、安全キャブ室内等への浸入による故障
- (3)タイヤ、オイルシール等のゴム類、樹脂類、ガラス等の破損
- (4)塗装、メッキ面の皮膜剥がれ

直射洗車厳禁

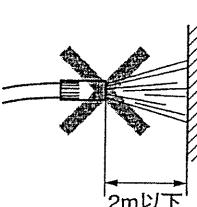


直射

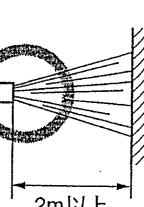


拡散

近距離洗車厳禁



2m以下



2m以上

仕様諸元

名 称	畠立ロータリ	
型 式	KK7 WD300	
耕 耘 方 式	サイドドライブ	
機体寸法	全 長 (mm)	1300~1460
	全 高 (mm)	750
	全 幅 (mm)	533
重 量 (kg)	47	
爪最大回転半径 (mm)	200	
耕 深 (mm)	65 (上記回転径)	
伝動方式	P T O ~ 入力軸	チェン
	入力軸 ~ 耕耘軸	チェン
耕耘軸回転数 (r p m)	210	

補足

・長期格納のしかた

- 各部をきれいに清掃します。（水洗いした場合は水分をよくふき取ること）
- オイルが汚れている時は新しいオイルに交換します。
- カバーを掛けて、湿気やホコリのない所に保管します。

補修用部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後9年といたします。ただし、供給年限内であっても、特殊部品につきましては、納期等についてご相談させていただく場合もあります。

補修用部品の供給は、原則的には上記の供給年限で終了いたしますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期及び価格についてご相談させていただきます。

純正部品を使いましょう

補修用部品は安心してご使用いただける純正部品をお買い求め下さい。
市販類似品をお使いになりますと、機械の不調や、機械の寿命を短くする原因になります。

純正アタッチメントを使いましょう

純正アタッチメントは一番よくマッチするように研究され、徹底した品質管理のもとで生産・出荷していますので、安心してご使用になれます。
市販類似品をご使用しますと、作業能率の低下や機械の寿命を短くする原因となります。

製造元 関東農機株式会社

本社工場 栃木県小山市大字横倉新田493 TEL 0285(27)3271 FAX 0285(27)4627

品番：044601340601000